

岐阜県博物館 開館 40 周年記念講演会

スプーン 1 杯の土が人類を救う ～微生物の力を借りて薬を創る～

岐阜県博物館では、飛騨美濃合併 140 周年並びに開館 40 周年を記念した講演会をシリーズで開催します。

今回は岐阜県図書館を会場に、北里大学北里生命科学研究所 塩見 和朗（しおみ かずろう）教授をお招きして、2015 年ノーベル生理学・医学賞を受賞された大村 智（おおむら さとし）博士の受賞理由となった抗生物質の一種であるエバームクチン発見の歴史やその作用について解説をいただくとともに、現在新たに取り組んでいるさまざまな病気を対象とした抗生物質の探索研究についてご講演いただきます。

講師 塩見 和朗（しおみ かずろう）

北里大学大学院 感染制御科学北里生命科学研究所
微生物応用科学研究室 教授

- ・ 1954 年生まれ。
- ・ 東京大学農学部農芸化学科卒業、農学博士。
- ・ 寶酒造株式会社 中央研究所・研究員。
- ・ (財) 微生物化学研究会 微生物化学研究所・客員研究員を経て、北里研究所に勤務。2005 年より現職。
- ・ 微生物の生産する抗生物質・生物活性物質の探索研究に携わる。



日時 平成 28 年 8 月 7 日（日） 13:30 ～ 15:00

会場 岐阜県図書館 多目的ホール

(岐阜市宇佐 4-2-1)

主催 岐阜県博物館・岐阜県図書館

対象 中学生以上

定員 300 名 (定員に達し次第、締め切りとなります)

参加料 無料

申込 岐阜県博物館ホームページの申込みフォーム又は電話
(Tel: 0575 - 28 - 3111)、岐阜県図書館の窓口へお申込みください。

駐車場 県美術館と共用駐車場 382 台 (駐車場が大変混雑しますので、できる限り公共交通機関をご利用ください。)

交通案内図

